

生活のきまり



きよく あかるく たくましく



薩摩川内市立高来小学校

1 登下校

- (1) いつも決まった通学路を通ります。兄弟や近くの友達と一緒に登校します。(道路は、右側を歩く。歩道のある所では、歩道を歩きます。)
- (2) 学校の始まるの時刻は、午前8時15分です。できるだけ午前7時30分から午前8時までの時間に登校します。
- (3) 帰りの会が終わったら、用のない人は、さっさと帰ります。
近所や帰る道が同じ友達と一緒に帰ります。
- (4) 黄色帽子や体育帽子(赤帽子)をしっかりとかぶりましょう。



2 学校の中で

- (1) あいさつ、会釈、返事をしっかりとします。
- (2) 学校で使う自分の持ち物には、学年、名前を必ず書きます。
- (3) 先生の許しを受けずに学校の外に出ません。忘れ物を取りに家に帰りません。
- (4) 体育館、体育倉庫、農具倉庫、特別教室、中庭、駐車場では遊びません。
- (5) 校庭では、仲良く譲り合って遊びます。
- (6) 廊下や階段は、右側を静かに歩きます。
- (7) 休み時間は、まず用事を済ませたり(水飲み・トイレ)次の時間の準備を整えたりしましょう。
- (8) 職員室や保健室、特別教室などに入るときは、許しを受け礼儀正しくして入ります。
- (9) 図書室の本の貸し出しは、昼休み時間と学級の図書利用の時間だけです。
- (10) トイレでは、しっかりとスリッパに履き替えます。自分の靴やスリッパはきちんと並べます。
- (11) 学校には、学習で使う物以外は持って来ないようにします。

3 服装・身だしなみ

- (1) 登下校のときは、いつも標準服・体育帽・運動靴です。
- (2) ネームは、きちんとつけましょう。
- (3) 靴下の色は白・灰色・紺・黒の単色で、丈は膝下までとします。(ワンポイントはよい。)
- (4) 体育や運動をするときは、体育服に着替えます。
- (5) 掃除の時間は、上着をとって作業をします。
- (6) ハンカチ・ティッシュは、いつも使えるように身に付けておきましょう。
- (7) 爪は、短く切りましょう。



高来小学校 生活のきまり（保護者向け）

〔服装・身だしなみについて〕

- ・ 標準服を着用する。ネームをつける。

紺色系のブレザータイプの上着、同色の半ズボン（ベルト着用）、スカート
白色系の襟のあるシャツ（ワイシャツ、ブラウス、ポロシャツ）

- ・ 靴・・・運動靴（厚底でないもの、色が派手でないもの）
- ・ 靴下・・・白・灰色・黒・紺色で、丈は膝下までのもの。ワンポイントはよい。
- ・ 帽子・・・体育帽子※登下校時は赤帽子（1年生は黄色帽子）
- ・ 体育時・・・本校指定の半袖・半ズボン
- ・ ハンカチ・ティッシュは、いつも使えるように身に付け、爪は短く整える。
- ・ 髪長さや髪型は、学習の妨げや健康上の問題が生じないようにする。長い場合は束ねる。

※ 寒い時期の服装については、防寒や体調に応じて対応する。

〔学習・生活について〕

- ・ 通常は安全面を考慮しランドセルを基本とする。ランドセル使用が必要のない時は連絡します。
- ・ 学校には、学習で使うもの以外は持って来ないようにする。（キーホルダーは、お守りを含め一つまで）
- ・ 学習用具、筆箱の中身について

鉛筆4～5本、赤・青鉛筆、消しゴム1個、
定規（ふで箱に入る長さ）※透明で目盛りの見やすいものが学習に役立ちます。
こう筆用下じき、名前ペン1本 ※下学年は、4B・3B等の濃いめの鉛筆を使う。

- ・ 友達との物の貸し借りは行わない。
- ・ 登下校等で、車の送り迎えは病気・怪我のときとする。
（送迎の際は、裏門入り口ごみステーション広場またはスクールバス駐車場を利用する。
スクールバス駐車場では、バスの駐停車時刻と重ならないよう安全に配慮する。）
- ・ スポーツ少年団の子どもの下校については、帰りの会終了後、一旦帰宅する。
- ・ スマホ・携帯電話の持ち込みは許可しない。
防犯ブザー等の機能を備えた不審者対策で使用する場合は、担任へ連絡する。

〔家に帰ってから〕

- ・ ミュージックチャイムが鳴り終わるまでには、帰宅する。
- ・ 休日等、友だちの家に遊びに行く時は、10時以降とする。
- ・ 下校後、校舎の中に無断で入らない。校舎へ入るときは、職員室で許可をとる。
- ・ 道路等を自転車に乗れるのは、4年生以上とする。必ずヘルメットを着用する。（新4年生は、交通教室実施後）ただし、各家庭で具体的に乗る範囲や区域等を話し合い、交通のきまりを守って乗るようになる。
- ・ 子どもたちだけで、自転車の遠乗り（校区外）はしないようにする。陽成地区⇄高来地区の自転車の移動は、学年に応じて保護者判断とする。
- ・ 川や池等には、万一の事態に対処できる人または責任のとれる人で行くようにする。
- ・ ローラースケート、スケートボード、キックボード、一輪車は道路ではしないようにする。